



春日部市議会議員
くりばら信司 後援会だより

Kuri's Voice

<http://s-kuribara.com/>

発行責任者
栗原 信司
市内中央2-25-30
TEL/FAX752-2384
www@s-kuribara.com

12月度定例議会 一般質問より

1. 犬のしつけ教室とドッグ・ランの設置について

始めに犬を愛する市民の方々が集めてきた署名についてどのように受け止めたのかお尋ねしました。

また、「動管法」が平成12年12月に「動物の愛護及び管理にする法律」として改正になった理由として、神戸の小学生連続殺傷事件など多発する少年犯罪の背景に動物虐待の関係が指摘されたことを示し、動物も人間も同じ痛みを共有するものであり、いわば同じ家族の一員であることから、まさにドッグ・ランは愛犬家とワンちゃんたちにとっては、至福のひとつを提供するものである事を訴えると共に、ドッグランは犬を迷惑に感じる市民にとっての大きな原因である犬の無駄吠えや

フン対策として飼い主へのしつけ方教室を提供する場ともなる事を指摘し、さらに市の所有する遊休地の活用という意味からもドッグランの設置を早急に検討して欲しいと訴えました。

答弁：署名は多くの市民の皆様の熱意として受け止めました。ドッグランについては遊休地の活用という点で前向きに検討に入ります。



2. 春日部駅のバリアフリー対策について

春日部駅のバリアフリー化について質問しました。いよいよ来年は国体の開催、そして市政50周年を迎える年でもあります。まさに全国の注目を浴びることになります。大勢の見学者や参加者の皆さんが当市を訪問することになります。

以上の点を踏まえつつ、地元住民の強い要望もある春日部駅のエレベーター設置などバリアフリー対策について早急な設

置を求めつつお伺いしました。

答弁：平成16年度中なるべく早期の設置に向けて検討していきます。





ちよっと小耳に情報！

☆色覚バリアフリー対策が一步進みます。

時代の流れと共にカラフルになる広報紙などを色覚に障害のある人にも優しい配慮をするようになります。

広報公聴課を中心に動き出します。

3. ブックスタート事業について

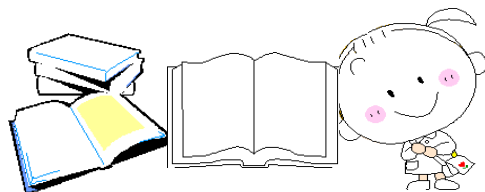
ブックスタート事業は可愛い子ども達の幼児教育のスタートとして、そして、親子で育児に取り組む良い機会として、さらには、将来の春日部を明るくするためと言う意味では「教育は国家百年の大計」とすることに繋がります。

この件については昨年9月には5,628名の署名を提出するなど、多くの市民の方からの賛同を得た上での質問とさせて頂きました。そこで今回はこの署名の意味するものをどのように受け止め、どのような検討をしてきたのか質問をしました。また、本年11月30日現在で566自治体での取り組みが始まりました。10月末では552自治体でしたので、この1ヶ月間に14の市町村で実施が決まったことになりま

す。また、ここ埼玉県でも20市町村が既に実施をしており、合併を目前とする宮代町でも庄和町でも始めております。

以上のことを上げ、親も子も共々に健全育成される為の文化教育の場の提供としてのブックスタート事業への取り組みについてお尋ねしました。

答弁：手渡しの方法、時期、お手伝いをしてくれるボランティアの手配など具体的な内容を詰め、平成16年度中の実施へ向けて取り組んでいきます。



4. 下水道未接続対策について

公共下水道として整備された地域として供用開始となったにもかかわらず水洗化をしていない、或いは、未だに浄化槽を使用しているなど公共下水道に未接続の方々が残っている地域の対策について質問しました。

一般の多くの市民の方は、臭いや害虫の発生を防ぐ為、或いは、住環境を良くする為、と言う思いで、資金のやりくりをしてやっとの思いで負担金を支払い、宅内工事をして本下水に接続をしております。これはまさに、地域住民としての責務としてやったものですが、その反面、

厳しい罰則規定がないことを良いことに、未だに宅内工事をしない、本下水に接続しない事を黙認することは、ある意味では差別に当たるのではないかと言う市民からの苦情の声が多数寄せられており、この対策について尋ねました。

答弁：市としては該当する家庭に下水道への接続依頼の通知を出したり職員が訪問し下水道事業の重要性を訴えると共に、工事費には支援策があることなどを訴えるなどの取り組みをしています。更に努力をしております。